英検準2級プラス 第2回 解説

1 短文の語句空所補充

(1) 正答 1

collection

意味・語法：収集品。a collection of = ~ の収集品。古い絵はがきという対象に注目。

文意：博物館には古い絵はがきの小さな収集品がある。一番古いものは100年以上前に送られた。

(2) 正答 1

Admission

意味・語法：入場。Admission is free = 入場無料。費用を尋ねた質問への回答。

文意：「コンサート前に切符を買う必要がありますか」「いいえ。私たちの学校の生徒は全員入場無料です」

(3) 正答 4

calculate

意味・語法：計算する。add the price of each item（各価格を足す）が計算の手がかり。

文意：責任者は椅子を注文する前に総費用を計算するようエミに頼んだ。彼女は各品の値段を注意深く足した。

(4) 正答 3

terrible

意味・語法：ひどい。数日間放置された牛乳による不快な臭いを表す。

文意：牛乳が数日間冷蔵庫の外に置かれたままで、台所はひどいにおいだった。

(5) 正答 4

enable

意味・語法：可能にする。enable + 人 + to不定詞 = 人が ~ できるようにする。

文意：新しいバス路線によって、人々は車なしで病院に行けるようになる。

英検準2級プラス 第2回 解説

1 短文の語句空所補充

(6) 正答 2

function

意味・語法：機能。機械が何をするかという機能。cut paper が具体的説明。

文意：「この機械の使い方を教えてください」「もちろんです。主な機能は紙を等しい大きさに切ることです」

(7) 正答 1

accurate

意味・語法：正確な。全ての名前を確認するのは情報の正確さを確保するため。

文意：編集者は情報が正確であるように、記事の全ての名前を確認した。

(8) 正答 2

reduce

意味・語法：減らす。本を取り出せば袋の重量が減る。

文意：重い袋は運びにくかったため、ケンは本を何冊か取り出して重さを減らした。

(9) 正答 2

conduct

意味・語法：実施する。conduct a survey = 調査を実施する。

文意：ボランティアは地元の子どもが試したい活動を知るために調査を実施する。

(10) 正答 4

vacant

意味・語法：空いている。Nobody has lived there が空家を示す。

文意：その家は所有者が海外へ移って以来、何年も誰も住まず空いている。

英検準2級プラス 第2回 解説

1 短文の語句空所補充

(11) 正答 2

set off

意味・語法：出発する。set off = 出発する。暑くなる前に歩き始めるという文脈。

文意：「徒歩でどれくらいかかりますか」「約1時間です。暑くなりすぎる前に出発しましょう」

(12) 正答 1

prior to

意味・語法：~ の前に。prior to + 名詞・動名詞 = ~ の前に。ここでは entering の前に置く。

文意：森に入る前に地図を確認してください。中では電話の電波がないかもしれない。

(13) 正答 3

give up

意味・語法：諦める。give up hope = 希望を捨てる。後ろの kept practicing と逆接の関係。

文意：チームは落胆したが、希望を捨てず次の試合に向けて練習を続けた。

(14) 正答 4

as long as

意味・語法：~ という条件で。as long as + 節 = ~ という条件で。返却期限を条件に貸出を認める。

文意：「カメラは来週返してよいですか」「はい。金曜日の写真の授業より前に返すならよいです」

(15) 正答 3

take notes at

意味・語法：~ でメモを取る。take notes at a
meeting = 会議でメモを取る。決定事項の記録が必要という説明と一致。

文意：欠席者が後で読めるよう、会議で決定事項を記録する人が必要だ。

英検準2級プラス 第2回 解説

1 短文の語句空所補充

(16) 正答 3

benefit

意味・語法：利益・ため。for the benefit of = ~のために。金銭目的でなく地域全体のための活動。

文意：ボランティアは自分がお金を得るためでなく、地域全体のために浜辺を掃除した。

(17) 正答 3

more clearly than

意味・語法：普段よりはっきり。副詞 clearly の比較級は more clearly。比較の基準を than でつなぐ。

文意：祖父は耳が遠いので、話すときには普段よりもはっきり話してください。

復習のポイント

正答を入れた文を読み、語句のまとまりと前後の論理を確認しましょう。前置詞・動名詞・比較などが問われる設問では、訳だけでなく文法上の形も説明できるようにします。

2 長文の語句空所補充

The Journey of a Lost Jacket

(18) 正答 2

did not notice their loss immediately

第1段落。数日後に電話する人が多く、紛失にすぐ気付かなかったことが原因。物の場所も思い出せず、捜索に時間がかかっていた。

(19) 正答 4

As a result

発見日時・場所・箱番号を記録した結果、候補を素早く絞れた。因果を表す As a result を選ぶ。

(20) 正答 2

supported rather than replaced careful checking

第3段落。記録は役立つが、写真だけで所有者を決められず、本人しか知らない情報も確認する。記録が確認作業の代わりになるわけではない。

段落ごとの内容

第1段落：スポーツセンターの忘れ物窓口では、数日後に連絡する利用者が物を置いた場所も思い出せず、職員の捜索に時間がかかっていた。

第2段落：発見日時・場所・保管箱番号と説明を共有記録に残し、候補を絞りやすくした。本人確認に使う特徴の一部は公開しなかった。

第3段落：似た上着を複数人が申告する場合もある。記録で整理しながらも、最後は持ち主が示す情報との照合が必要である。

2 長文の語句空所補充

Listening to a Familiar Place

(21) 正答 1

offer experiences they had previously overlooked

第1段落。普段は聞き流す音に気付く活動であり、身近な場所にも見落としていた経験があると分かった。

(22) 正答 1

the same location could change over time

第2段落。朝の道路と授業後の校庭という例から、同じ場所でも時間帯によって音が変わる。

(23) 正答 4

Instead

会話を公開せず、代わりに文章の説明を使った。Instead は「その代わりに」。

段落ごとの内容

第1段落：サウンドウォークでは歩きながら音を聴き、学校周辺の地図に記録する。立ち止まって静かになると、普段見落とす音が分かる。

第2段落：1回目は録音せず聴くことに集中し、2回目に選んだ音の理由を付けて録音した。同じ場所の音も時間によって変わる。

第3段落：展示には録音日時や天候を添えた。私的な会話は公開せず文章で置き換え、場所の理解には背景と人への配慮も必要だと学んだ。

3A Eメールの内容一致

(24) 正答 1

Learn how to use the equipment indoors.

第1段落。最初は屋内で機器の使い方を学び、その後観測する。集合時刻と授業開始時刻も区別する。

(25) 正答 2

The outside area may be cold.

第2段落。夏でも丘の屋外は涼しいため。星図は観測所が用意する。

(26) 正答 1

An indoor program will still take place.

第3段落。雲で望遠鏡が使えなくても画像と説明の屋内プログラムを実施する。

メールの内容

第1段落：7月9日、科学クラブを迎える。18:30集合、19:00から屋内で機器の使い方を学んで観測する。

第2段落：夏でも屋外は涼しいので上着を持参する。星図は用意され、望遠鏡室の定員15人を超える場合は2組に分かれる。

第3段落：6月25日までに最終人数を連絡し、支払いは訪問時。曇天でも画像を使った屋内講座を行うので、自己判断で移動を取りやめない。

読解の確認

申し込みや連絡の期限、実施日、集合と開始、持参する物と主催者が用意する物を区別する。条件付きの変更や代替案についても、誰が何をするのかを本文に戻って確認する。

3B 説明文の内容一致

The Station That Became a Classroom

(27) 正答 3

Her school needed more space for practical activities.

第1段落。学校には大きな実習の場所がなく、近くの空き駅舎を活用しようとした。

(28) 正答 2

It allowed them to start with less money.

第2段落。全館ではなく1室から始めることで、少ない予算で開設できた。

(29) 正答 3

Learners were given more time to try each step themselves.

第3段落。急いで大人が完成させるのでなく、一段階ずつ説明して生徒自身に試させた。

(30) 正答 4

People living nearby could be disturbed by late noise.

第4段落。近隣住民がいるため夜遅くの騒音に配慮する。

(31) 正答 3

Providing learning and maintaining a shared welcoming space.

最終段落。保存だけでなく、中で学び、皆が使いやすい状態を保つことが価値である。

3B 本文の内容確認

The Station That Became a Classroom

第1段落：廃線後に空いていた駅舎を、実習場所が足りない学校と地域の人が技能を学び合う場所にする案が出た。

第2段落：住民が見学して必要な修理と活動を相談した。1室だけ先に直して予算を抑え、旧切符売場は歴史が分かるように残した。

第3段落：木箱作りでは大人が急いで仕上げがちだったが、教師が一段階ずつ説明し、生徒に試させるよう変更した。

第4段落：今は複数の実習を行うが、夜の音や清掃・修理にも配慮する。保存した建物を皆で使い、学ぶことに価値がある。

読み直しのポイント

最初の目的、その後分かった事実、対応や変更、最後の結論をつなげて読む。正しい選択肢は本文の言い換えになっていることがある。本文の一部分だけが合っていても、時期・対象・理由が違えば選ばない。

4 英文要約

解答例（28語）

School art workshops can introduce new interests and careers. However, students may struggle to continue afterward without materials or advice, so schools should consider opportunities for further practice.

要約する内容

導入：仕組み・取組

Some schools invite local artists to lead short workshops. Students can try activities such as painting or making simple objects, even when these are not part of their usual lessons.

利点

These workshops can help students discover new interests. Meeting a person who works in the arts may also make an unfamiliar job seem more real and understandable.

課題・注意点

However, a single workshop gives students little time to practice. If they cannot obtain materials or further advice afterward, they may find it difficult to continue the activity. Schools need to think about what happens after the workshop.

答案の確認

仕組み・利点・課題を偏りなくまとめる。細部の例を全て列挙せず、自分の賛否や本文にない主張を足さない。25～35語に収め、主語・動詞・単複・綴りを見直す。

5 英作文

Do you think students should sometimes choose the topics they study in class?

賛成の解答例（52語）

Yes, I think they should. First, students may work harder when they can study something they are interested in. For example, a student who likes animals may enjoy researching them. Second, choosing a topic teaches students to make decisions. Teachers can still help them select topics that are suitable for the class.

反対の解答例（56語）

No, I do not think so. First, students may choose only familiar topics and miss important new ideas. A teacher can help them explore a wider range of subjects. Second, organizing many different topics in one class can be difficult. Students should have some choices, but the main learning goals should be planned carefully by teachers.

理由の構成

どちらの立場も可能です。解答例では立場を示してから First と Second で異なる2つの理由を述べ、具体的な説明を加えています。自分で書くときも、同じ理由の言い換えを2つ並べるのではなく、別の観点を選びます。

最終確認

50 ~ 60語 / 質問に合う立場 / 理由を2つ / 短い具体的な説明 / 主語と動詞の一致。解答例は一例であり、同じ表現を使う必要はありません。